

栃木県内 R8.7月の相談件数 **1,456件**

(件数はすべて9月8日までにPIO-NET※に登録された暫定値)

※「PIO-NET」全国消費生活情報ネットワークシステム
(Practical Living Information Online Network System)の略

1 全体上位

順位	商品分類	件数
1位	商品一般（不審電話等）	220
2位	役務その他（分電盤・ブレーカーの点検商法等）	143
3位	健康食品（インターネット通販の定期購入トラブル等）	67
4位	集合住宅（賃貸アパートのトラブル等）	59
5位	化粧品（インターネット通販の定期購入トラブル等）	57

2 世代別商品分類上位

世代	1位	件数	2位	件数	3位	件数
～19	健康食品	4	化粧品 他の教養・娯楽	各3	—	—
20～29	役務その他	12	自動車	8	商品一般 娯楽等情報配信サービス	各7
30～39	集合住宅	9	商品一般 役務その他	各8	—	—
40～49	集合住宅	12	自動車	11	商品一般	10
50～59	商品一般	36	役務その他	13	健康食品 化粧品	各12
60～69	商品一般	28	健康食品	19	化粧品 役務その他	各12
70～79	商品一般	52	役務その他	34	化粧品	18
80～	商品一般	31	役務その他	20	移动通信サービス 他の行政サービス	各7

今月のポイント

「1 全体上位」で4位となった「集合住宅」の相談（合計59件）のうち、38件（64.4%）が賃貸アパートのトラブルに関する相談であり、退去時に発生した原状回復費用や修繕費用に関する相談が多かった。